

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		理科		科目名	物理
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	物理 新訂版(実教出版)
3	選択	4	120	補助教材	サンダイヤル ステップアップノート物理 改訂版(啓林館)
授業の概要		教科書・問題集を中心に、実験・実習、小テストを行う。単元ごとに小テストを実施する。			
学習到達目標		物理的な事象・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てるとともに、物理学の基本的な概念や原理・法則を理解を深めさせ、科学的な自然観を見方や考え方を育成する。			
求められる力 (目指す生徒像)		物理の基本的な法則を理解し、自然現象にあてはめて考えることができる。自らの考えを的確に表現できる。科学的な自然観を身につけている。			

観点別評価(%)							
	定期試験	小テスト	グループワーク	レポート	提出物	自己評価	合計
知識・技能	60	40					100
思考・判断・表現	60	20	10	10			100
主体的に取り組む学習態度			30	30	30	10	100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方 1 速度 2 加速度 3 落体の運動	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート			○
	第2章 運動の法則 1 カとそのはたらき	小テスト	○	○	
5月	第2章 運動の法則 2 カのつりあい 3 運動の法則 4 摩擦を受ける運動 5 液体や気体から受ける力	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート			○
	第3章 仕事と力学的エネルギー 1 仕事	小テスト	○	○	
6月	第3章 仕事と力学的エネルギー 2 運動エネルギー 3 位置エネルギー 4 力学的エネルギーの保存の法則	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート			○
	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー 1 熱と物質の状態 2 熱と仕事	小テスト テスト	○	○	
7・8月	第3編 波 第1章 波の性質 1 波と媒質の振動 2 重ね合わせの原理	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート			○
	第2章 音 1 音の性質 2 発音体の振動と共振・共鳴	小テスト	○	○	
9月	第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗 1 電気の性質 2 電気と電気抵抗 3 電気とエネルギー	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート			○
	第2章 磁場と交流 1 電流と磁場 2 交流と電磁波	小テスト テスト	○	○	

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第1章 さまざまな運動	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト		○	○
			○	○	
11月	第2章 波	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト テスト		○	○
			○	○	
12・1月	第3章 電気と磁気	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート 小テスト テスト		○	○
			○	○	
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		理科		科目名	化学
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	新編 化学(数研出版)
3	選択	4	120	補助教材	新課程フォローアップドリル化学(数研出版)
授業の概要		理論化学・無機化学・有機化学についての内容を、実験を交えながら理解させる。また、補助教材等も活用し、基礎的・基本的な言葉の理解や計算ができるようにする。			
学習到達目標		化学の基本的な概念や原理・法則を系統的に理解する。また、実験・観察を通して科学的な自然観を持ち、自然の事物・現象を分析的・総合的に考察する能力を育成する。			
求められる力 (目指す生徒像)		無機物質や有機化合物、高分子化合物について、物質の構造や反応、性質を微視的レベルで考えることができる。			

観点別評価(%)							
	定期試験	小テスト	課題提出	レポート	活動評価		合計
知識・技能	60	20	10	10			100
思考・判断・表現	60	20		20			100
主体的に取り組む学習態度	10	10	30	20	30		100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	第1編 第1章 固体の構造 1結晶とアモルファス 2金属結晶 3イオン結晶 4分子間力と分子結晶 5共有結合の結晶	一斉授業			○
	第1編 第2章 物質の状態変化 1粒子の熱運動 2状態の変化とエネルギー 3気液平衡と蒸気圧	レポート		○	○
		小テスト	○	○	
5月	第1編 第3章 気体 1気体の体積 2気体の状態方程式 3混合気体の圧力 4実在気体 5共有結合の結晶	一斉授業			○
	第1編 第4章 溶液 1溶解とそのしくみ 2溶解度 3希薄溶液の性質 4コロイド溶液	レポート		○	○
		小テスト	○	○	
6月	第2編 第1章 化学反応とエネルギー 1化学反応と熱 2ヘスの法則 3化学反応と光	一斉授業			○
	第2編 第2章 電池と電気分解 1電池 2電気分解	レポート		○	○
		小テスト	○	○	
7・8月	第2編 第3章 化学反応の速さとしくみ 1化学反応の速さ 2反応条件と反応速度 3化学反応のしくみ	一斉授業			○
	第2編 第4章 化学平衡 1可逆反応と不可逆反応 2平衡状態の変化 3電解質水溶液の化学平衡	レポート		○	○
		小テスト	○	○	
9月	第3編 第1章 非金属元素 第2章 金属元素(Ⅰ)ー典型元素ー 第3章 金属元素(Ⅱ)ー遷移元素ー	一斉授業			○
		レポート		○	○
		小テスト	○	○	

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第4編 第1章 有機化合物の分類と分析 1有機化合物の特徴と分類 2有機化合物の分析	一斉授業			○
	第4編 第2章 脂肪族炭化水素 1飽和炭化水素 2不飽和炭化水素	レポート		○	○
		小テスト	○	○	
11月	第4編 第3章 アルコールと関連化合物 1アルコールとエーテル 2アルデヒドとケトン 3カルボン酸 4エステルと油脂	一斉授業			○
	第4編 第4章 芳香族化合物 1芳香族炭化水素 2フェノール類と芳香族カルボン酸 3芳香族アミンとアゾ化合物 4有機化合物の分離	レポート		○	○
		小テスト	○	○	
12・1月	第5編 第1章 高分子化合物の性質 第2章 天然高分子化合物 第3章 合成高分子化合物	一斉授業			○
		レポート		○	○
		小テスト	○	○	
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		理科		科目名	生物
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	『生物』（数研出版）
3	選択	4	120	補助教材	『新課程リードLightノート 生物』（数研出版）
授業の概要		細胞と分子、代謝、遺伝情報の発現、生殖と発生、生物の環境応答、生物群集と生態系、生物の進化、生物の系統などについて学習する。			
学習到達目標		生物や生命現象への関心を高め、科学的に探究する能力と態度を養うとともに、生物学の概念や原理・法則、最新の知見について深く、系統的に理解する。			
求められる力（目指す生徒像）		生物学の基本的な理念や原理・法則の理解を深め、必要な実験・観察などを行ないながら、科学的に探求しようとしてすることができる。			

観点別評価（％）								
	定期試験	小テスト	課題提出	授業姿勢				合計
知識・技能	60	30	10					100
思考・判断・表現	60	30	10					100
主体的に取り組む学習態度		20	30	50				100

年間学習計画（前期）						
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点			
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度	
4月	第1章 生物の進化 第1節 生命の起源と生物の進化 第2節 遺伝子の変化と多様性 第3節 遺伝子の組み合わせの変化	一斉授業	○			
		グループ学習		○		○
		ワーク演習	○			
5月	第4節 進化のしくみ 第5節 生物の系統と進化 第6節 人類の系統と進化	一斉授業	○			
		グループ学習		○		○
		ワーク演習	○			
6月	第2章 細胞と分子 第1節 生体物質と細胞 第2節 タンパク質の構造と性質 第3節 化学反応にかかわるタンパク質 第4節 膜輸送や情報伝達にかかわるタンパク質	一斉授業	○			
		グループ学習		○		○
		ワーク演習	○			
7・8月	第3章 代謝 第1節 代謝とエネルギー 第2節 呼吸と発酵 第3節 光合成	一斉授業	○			
		グループ学習		○		○
		ワーク演習	○			
9月	第4章 遺伝情報の発現と発生 第1節 DNAの構造と複製 第2節 遺伝情報の発現 第3節 遺伝子の発現調節 第4節 発生と遺伝子発現	一斉授業	○			
		グループ学習		○		○
		ワーク演習	○			

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第5節 遺伝子を扱う技術 第5章 動物の反応と行動 第1節 刺激の受容 第2節 ニューロンとその興奮 第3節 情報の統合	一斉授業	○		
		グループ学習		○	
		ワーク演習	○		○
11月	第4節 刺激への反応 第5節 動物の行動 第6章 植物の環境応答 第1節 植物の生活と植物ホルモン	一斉授業	○		
		グループ学習		○	
		ワーク演習	○		○
12・1月	第2節 発芽の調節 第3節 成長の調節 第4節 器官の分化と発芽形成の調節 第5節 環境の変化に対する応答	一斉授業	○		
		グループ学習		○	
		ワーク演習	○		○
2月	第6節 配偶子形成と受精 第7章 生物群集と生態系 第1節 個体群の構造と性質 第2節 個体群内の個体間の関係 第3節 異なる種の個体群間の関係	一斉授業			
		グループ学習	○	○	
		ワーク演習			○
3月	第4節 生態系の物質生産と物質循環 第5節 生態系と人間生活	一斉授業	○		
		グループ学習		○	
		ワーク演習	○		○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		理科		科目名	地学基礎
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	地学基礎(実教出版)
3	選択	2	60	補助教材	ビジュアルプラス 地学基礎ノート
授業の概要		教科書を中心に、実験実習、小テストを行う。単元ごとに小テストを実施する。			
学習到達目標		地球をグローバルな視点でとらえる。大気や海洋の現象を生活に及ぼす影響と関連付けて考える。北海道特有の気候に関して考える。宇宙の性質と探究方法の理解を深める。			
求められる力 (目指す生徒像)		地学の基本的な法則を理解し、自然現象にあてはめて考えることができる。自らの考えを的確に表現できる。科学的な自然観を身につけている。			

観点別評価(%)							
	定期試験	小テスト	グループワーク	レポート	提出物	自己評価	合計
知識・技能	60	40					100
思考・判断・表現	60	20	10	10			100
主体的に取り組む学習態度			30	30	30	10	100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	1章 地球の構成と運動 1節 地球の構造 1 地球の形と大きさ 2 地表のようす 3 地球内部の構造	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート		○	○
	2節 プレートの運動 1 プレートテクトニクス 2 大地形の形成と地質構造	小テスト	○	○	
	3節 地震と火山 1 地震活動 2 火山活動	プリント学習			○
5月	2章 大気と海洋 1節 大気の構造と運動 1 高度による気圧・気温の変化 2 大気の層構造 3 大気中の水とその状態 4 大気の状態	ワーク演習 課題 レポート 小テスト		○	○
	2節 大気の大循環 1 地球のエネルギー収支 2 大気のエネルギー収支 3 大気大循環 4 温帯低気圧と熱帯低気圧	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート		○	○
	3節 海洋の構造と海水の運動 1 海洋の層構造 2 海水の運動と循環	小テスト	○	○	
7・8月	4節 日本の四季の気象と気候 1 気象と気候 2 日本の四季	プリント学習			○
	3章 宇宙、太陽系と地球の誕生 1節 宇宙の誕生 1 宇宙の姿 2 天体の距離と光の速さ 3 ビックバンから天体の誕生まで	ワーク演習 課題 レポート 小テスト	○	○	○
	2節 太陽の誕生 1 現在の太陽 2 太陽の誕生	プリント学習		○	○
9月	3節 惑星の誕生と地球の成長 1 太陽系の姿 2 太陽系の誕生と地球の成長 3 地球の誕生と成長	ワーク演習 課題 レポート 小テスト	○	○	

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	4章 古生物の変遷と地球環境の変化 1節 地層のつき方 1 地層のつき方 2 堆積岩 3 地層を調べる	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート		○	○
	2節 化石と地質時代の区分 1 化石 2 化石と地質時代の区分	小テスト	○	○	
	3節 古生物の変遷と地球環境 1 初期生命と大気の変化 2 多様な生物の出現と脊椎動物の発展 3 哺乳類の繁栄と人類の発展	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート		○	○
11月	2節 地球環境の科学	小テスト	○	○	
	5章 地球の環境 1節 日本の自然環境 2節 地球環境の科学	プリント学習 ワーク演習 課題 レポート		○	○
	2月				
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		理科		科目名	化学・生物基礎研究
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	①新編 化学基礎 ②新編 生物基礎
3	選択	2	60	補助教材	①アクセスノート 化学基礎 新課程版 ②アクセスノート 生物基礎 新課程版
授業の概要		化学基礎・生物基礎の全分野を改めて学習し演習することで、化学・生物の基本的な概念や原理・原則を理解する。			
学習到達目標		物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。 生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を養う。			
求められる力 (目指す生徒像)		化学の基本的な概念、原理・原則と日常生活との関連性を見出し、物質とその変化に関心を持つことができる。 生物学の基本的な概念、原理・法則から日常生活や生物としての自分自身に関心を持つことができる。			

観点別評価(%)								
	定期試験	小テスト	課題提出	レポート	活動評価			合計
知識・技能	60	30	10					100
思考・判断・表現	60	20		20				100
主体的に取り組む学習態度	10	10	30	20	30			100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	生物基礎(数研出版) 第4章 生物の多様性と生態学 第1節 植生と遷移 第2節 植生の分布とバイオーム	一斉授業			○
		課題演習	○		○
		小テスト	○	○	
5月	第4章 生物の多様性と生態学 第3節 生態系と生物の多様性 第4節 生態系のバランスと保全	一斉授業			○
		課題演習	○		○
		小テスト	○	○	
6月	第1章 生物の特徴	課題演習	○		○
		レポート		○	○
7・8月	第2章 遺伝子とそのはたらき	課題演習	○		○
		レポート		○	○
9月	第3章 ヒトの体内環境の維持	課題演習	○		○
		レポート		○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第2章 酸と塩基の反応 3 中和反応と塩 4 中和滴定 第3章 酸化還元反応 1 酸化と還元	一斉授業			○
		課題演習	○		○
		小テスト	○	○	
11月	第3章 酸化還元反応 2 酸化剤と還元剤 3 金属の酸化還元反応 4 酸化還元反応の利用 一電池・金属の製錬	一斉授業			○
		課題演習	○		○
		小テスト	○	○	
12・1月	第1章 物質の構成と化学結合	課題演習 レポート	○	○	○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		保健体育		科目名	体育
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）
3	必修	2	60	補助教材	
授業の概要		様々な種目を通し、自らの体力を高めるとともに、集団行動に必要な技能を習得する。各種目のスキルテストを実施し、運動の基礎基本を身につける			
学習到達目標		各種目の基礎・基本をもとに、周囲と協力し練習やゲームに取り組むことができる。自主的・自律的に集団行動をとることができる。			
求められる力（目指す生徒像）		集団および個人の技能伸長をはかるための主体性と探究心。継続的な取り組みや集団での協働を通して醸成される自己肯定感。			

観点別評価（％）								
	活動観察	スキルテスト	ノート記入	グループ学習				合計
知識・技能	30	40	20	10				100
思考・判断・表現	30		40	30				100
主体的に取り組む学習態度	30		30	40				100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	○オリエンテーション ○体づくり運動 ○集団行動	ペアワーク・グループワーク ワークシート		○	○
5月	○新体力テスト ○陸上競技Ⅰ (短距離走、長距離走)	ペアワーク・グループワーク スキルテスト・記録会	○	○	○
6月	○選択Ⅰ 球技（サッカー・バドミントン テニス・卓球） 武道（柔道）	グループワーク 実技 学習ノート スキルテスト	○	○	○
7・8月	○ダンス (現代的なリズムのダンス)	グループワーク・ディスカッション 発表会 ワークシート	○	○	○
9・10月	○選択Ⅱ 球技 バレーボール バスケットボール バドミントン・卓球	グループワーク 実技 学習ノート スキルテスト	○	○	○

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
11月	○選択Ⅲ 球技 バレーボール バスケットボール バドミントン・卓球	グループワーク 実技 学習ノート スキルテスト	○	○	○
12月	○体育理論 スポーツの歴史的発展と変容 スポーツの技術、戦術、ルールの変化	グループワーク・ディスカッション ワークシート	○	○	○
1～3月	家庭学習期間				

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		保健体育		科目名	トレーニング
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	なし
3	選択	2	60	補助教材	なし
授業の概要		トレーニングの原理や原則、基本的な理論を学ぶと同時に、各種のトレーニングを実際に行い、体力の向上を目指します。評価は実技の取組状況や計測したタイム、ワークシートや小テストを用いて行います。			
学習到達目標		トレーニングの原理や原則、基本的な理論を理解し、説明することができる。各種トレーニングの意義や効果、ポイントをふまえてトレーニングの実技を行うことができる。			
求められる力 (目指す生徒像)		上向きな心で、各種トレーニングに意欲的に挑戦し努力ができる。 学習した内容を幅広く活用できるようになる。			

観点別評価(%)								
	授業姿勢	課題提出	小テスト					合計
知識・技能	40	30	30					100
思考・判断・表現	30	40	30					100
主体的に取り組む学習態度	40	40	20					100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	トレーニングの原理・原則	講義	○		
	トレーニング計画の立案	講義・グループワーク		○	
	ウォームアップとクールダウン	講義・実践・振り返り	○	○	
5月	柔軟性向上トレーニング	講義・実践・振り返り		○	○
	スピード向上トレーニング	講義・実践・振り返り	○	○	○
6月	小テスト	小テスト・レポート	○	○	
	スピード向上トレーニング	講義・実践・振り返り	○	○	○
7・8月	アジリティトレーニング	講義・実践・振り返り	○	○	○
9月					

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	持久力向上トレーニング	講義・実践・振り返り	○		○
11月	筋力トレーニング理論・実践	講義・実践・振り返り	○	○	○
12・1月	筋力トレーニング理論・実践	講義・実践・振り返り	○	○	○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		外国語		科目名	英語コミュニケーションⅢ
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	Power On English Communication Ⅲ (東京書籍)
3	必修	4	120	補助教材	
授業の概要		英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり伝えたりする能力を伸ばす。			
学習到達目標		日常的・社会的な話題について、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報の概要や要点を目的に応じて捉えることができる。また、基本的な語句を用いて情報や考えを論理性に注意して伝えることができる。			
求められる力 (目指す生徒像)		外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。			

観点別評価(%)								
	定期試験	小テスト	Pテスト	課題提出	授業姿勢			合計
知識・技能	70	15	15					100
思考・判断・表現	30		50	20				100
主体的に取り組む学習態度		25	30	25	20			100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	L1 Library of the Future	【文法】現在分詞の分詞構文 関係副詞where	○		○
		【内容】理想の図書館について		○	○
5月	L2 History Maker Otani Shohei	【文法】現在完了進行形 be動詞+to不定詞	○		○
		【内容】好きなスポーツ選手について		○	○
6月	L3 Zoo Dentists: How They Work for Zoo Animals	【文法】比較表現 使役動詞+原形不定詞	○		○
		【内容】興味のある職業について		○	○
7・8月	L4 Nature Photographer in Alaska	【文法】関係代名詞の非制限用法 関係代名詞what、 分詞構文	○		○
		【内容】写真家の写真について		○	○
9月	L5 A Science Award That Makes You Laugh, and Then Think	【文法】第5文型、 過去完了進行形、 受け身	○		○
		【内容】イグ・ノーベル賞を受賞した研究について		○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	L6 Where Does Halloween Come from? L7 Will 3D Printing Technology Change the World?	【デ・イスコスマーカ】「追加」 【内容】ハロウィンの商業主義 【デ・イスコスマーカ】「事実と意見」 【内容】3Dプリンタでの家の建築	○ ○	○ ○	○ ○
11月	L8 A Conductor of the Underground Railroad L9 English, Always Growing	【デ・イスコスマーカ】「時間順序」 【内容】難民を救うためにできること 【デ・イスコスマーカ】「列挙」 【内容】最近日本語に入った言葉	○ ○	○ ○	○ ○
12・1月	L10 Understanding the Culture of Dogs	【デ・イスコスマーカ】「追加」 【内容】ペットを飼うならイヌ?ネコ?	○	○	○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		外国語		科目名	英語総合
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	
3	選択	4	120	補助教材	BIG DIPPER English Communication I
授業の概要		わかりやすい文章・内容を題材とし、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を育成する。			
学習到達目標		基本的な文法力、語彙力を身につけ、本文の概要を捉え、内容を意識しながら本文を聞き取り、音読し、簡単な英語で自分の考えを表現する力の向上を目指す。			
求められる力 (目指す生徒像)		自ら主体的に課題を見つけ、辞書やクロムブックを用いて調べ学習に取り組む力、言語活動を通して自分の考えを発信したり、異なった意見を聞く力を身につける。			

観点別評価(%)								
知識・技能	定期試験	小テスト	Pテスト	提出ブリ	課題	授業姿勢		合計
知識・技能	70	15	15					100
思考・判断・表現	30		50	20				100
主体的に取り組む学習態度		15	20	30	15	20		100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	Lesson 1	本文概要理解と時制について	○	○	
	Have a good day with Good Breakfast	ベーシックノート完成・小テスト・Pテスト 現在完了(経験)で自分の考えを表現する	○	○	○
5月	Lesson 2	本文概要理解と文型について	○	○	
	A Mascot with a Mission	ベーシックノート完成・小テスト・Pテスト 不定詞・動名詞を用いて自分の考えを表現する	○	○	○
6月	Lesson3	本文概要理解と関係代名詞について	○	○	
	Two Kinds of Leadership	ベーシックノート完成・小テスト・Pテスト 関係代名詞を用いて自分の考えを表現する	○	○	○
7・8月	Lesson4	本文概要理解と比較表現について	○	○	
	Older Sports and Newer Sports	ベーシックノート完成・小テスト・Pテスト 最上級を用いて自分の考えを表現する	○	○	○
9月	Lesson5	本文概要理解と分詞について	○	○	
	AI Meets the Arts	ベーシックノート完成・小テスト・Pテスト It～ that～を用いて自分の考えを表現する	○	○	○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	Lesson6	本文概要理解(表・グラフ)」と過去完了について	○	○	
	What Is Happiness?	ベーシックノート完成・小テスト・Pテスト 関係副詞(when)を用いて自分の考えを表現する	○	○	○
11月	Lesson7	本文概要理解と知覚動詞・使役動詞について	○	○	
	The Maldives: A Dream Destination?	ベーシックノート完成・小テスト・Pテスト SVOCを用いて自分の考えを表現する	○	○	○
12・1月	Lesson 8	本文概要理解と関係代名詞(what)と関係副詞について	○	○	
	Kazu Hiro: In pursuit of a Dream	ベーシックノート完成・小テスト・Pテスト The reason why～を用いて自分の考えを表現する	○	○	○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		外国語		科目名	論理・表現ベーシック			
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	なし			
3	必修	2	60	補助教材	Step by Step 4 Skills 2 CEFR A2レベル			
授業の概要		英語4技能をバランス良く扱い、コミュニケーション能力の向上を目指す。 書く能力は、英検準2級のライティング問題をベースに、複数の理由を元に一定の時間で50～60語の英文を書けることを目標とする。話す能力は、定型文を覚える(リピートする)ところから始め、最終的には初めて聞く(見る)文章やイラストについて動作と理由の因果関係を説明できるなど、実用的なやりとりができることを目標とする。授業以外でも、オンライン(classroom)での情報・課題確認、動画視聴等、能動的に情報を得ることが求められる。						
学習到達目標		本校Can-Doリストに従い、年度始めはCEFR(セファール)A1レベル中級からスタートし、最終的にはCEFR A2レベル(概ね英検準2級ギリギリ合格レベル)を目標とする。						
求められる力 (目指す生徒像)		・英語での説明 or 聞こえた(書かれた)英文に対する解答を導ける。※簡単な英語なら1回聞きでも・(ペアワーク等を通し)自分の答だけでなく、他の答も参考にし、英語で話したり書いたりできる。						
観点別評価(%)								
	定期試験	小テスト	Pテスト	提出物	授業姿勢			合計
知識・技能	50	30		20				100
思考・判断・表現	50		30		20			100
主体的に取り組む学習態度		20	20	30	30			100
年間学習計画(前期)								
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点					
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度			
4月	オリエンテーション 1・2年生レベル定着度合の確認 CEFR A1レベルの問題を用いた英語力チェック テキスト Unit 1	Can-Doリスト配布 4技能演習(教室での活動) 必要に応じてTTやLL教室での活動		○	○			
5月	Unit 1のつづき インプットの確認活動(1)	小テスト 提出物 h' フォーマンテスト(Pテスト) ライティング' 予定	○ ○	○ ○	○ ○			
6月	*(参考)第1回英検 前期中間試験 テキスト Unit 2	定期試験(含 リスニング) 4技能演習(教室での活動) 必要に応じてTTやLL教室での活動	○	○ ○	○ ○			
7・8月	Unit 2のつづき インプットの確認活動(2)	小テスト 提出物 h' フォーマンテスト(Pテスト) ライティング' 予定	○ ○	○ ○	○ ○			
9月	前期期末試験 テキスト Unit 3 *(参考)第2回英検	定期試験(含 リスニング) 4技能演習(教室での活動) 必要に応じてTTやLL教室での活動 Can-Do振り返り	○	○ ○	○ ○			

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	前期内容定着度合の確認 CEFR A2レベルの問題を用いた英語 力チェック Unit 3のつづき インプットの確認活動(3)	4技能演習(教室での活動) 必要に応じてTTやLL教室での活動 h' フォーマンテスト(Pテスト) スピーキング' 予定	○	○	○ ○
11月	インプットの確認活動(3) つづき 後期中間試験	小テスト 提出物 定期試験(含 リスニング)	○ ○ ○	○	○ ○
12・1月	テキスト Unit 4・5 インプットの確認活動(4) *(参考)第3回英検 一年間のまとめ 後期期末試験	4技能演習(教室での活動) 必要に応じてTTやLL教室での活動 小テスト 提出物 h' フォーマンテスト(Pテスト) ライティング [レポート形式] 予定 Can-Do振り返り 定期試験(含 リスニング)	○ ○ ○	○	○ ○ ○

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		家庭		科目名	保育基礎
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	保育基礎(教育図書)
3	選択	3	90	補助教材	保育基礎ワークノート(教育図書)
授業の概要		子どもの発達の特長や発達過程、家族の役割や子育て支援に関心を持ち、人生における「子どもを産み育てること」について考えを深め、実践的な態度を身につける。			
学習到達目標		子どもの発達の特長や発達過程、子育てなどに関する基礎的な知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力と態度を育てる。			
求められる力 (目指す生徒像)		子どもの発達の特長や発達過程、子育てに関心を持ち、今後の生活に活かすことができる力を養う。			

観点別評価(%)							
	単元テスト	授業姿勢	作品実技	課題提出			合計
知識・技能	30	30		40			100
思考・判断・表現	10	30	40	20			100
主体的に取り組む学習態度		50		50			100

年間学習計画(前期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	1章 子どもの保育	・保育の意義 ・保育の環境 ・保育の方法	○ ○ ○		○ ○ ○
5月	2章 子どもの発達	・子どもの発達の特長 ・乳幼児の発達と発達	○ ○	○	○ ○
6月					
7・8月	3章 子どもの生活	・子どもの健康と生活 ・子どもの食事	○ ○		○ ○
9月		・子どもの衣服と寝具 ・子どもの健康と安全 ・調理実習(子どものおやつ)	○ ○	○	○ ○ ○

年間学習計画(後期)					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	4章 子どもの福祉	・保育にみる児童観 ・児童福祉の理念と法規・制度	○ ○	○	○ ○
11月	5章 子どもの文化	・子どもの文化の意義 子どもの文化を支える場 ・調理実習(子どもの軽食)	○ ○	○	○ ○
12・1月		・子どもと遊び ・子どもの表現活動 ・調理実習(子どもの食事)	○ ○	○	○ ○
2月					
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		情報		科目名	情報の表現と管理
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	『情報の表現と管理』（実教出版株式会社）
3	選択	3	90	補助教材	『30時間でマスター Excel2021』（実教出版株式会社）
授業の概要		情報を収集、整理、加工、表現するなどの活動適切に行うために必要な基礎的な知識と技術を身につけ、情報を目的に応じて適切に表現するとともに、管理し活用することができる能力と態度を育てる。			
学習到達目標		情報の表現と管理に関する基礎的な知識と技術を習得させ、情報を目的に応じて適切に表現することや管理し活用できることを目指す。			
求められる力（目指す生徒像）		コンピュータやアプリケーションソフトウェアなどを目的に応じて活用する方法を身に付けること。情報の表現や管理に情報手段を積極的に活用することができること。			

観点別評価（％）							
	授業姿勢	課題提出	活動評価	定期試験			合計
知識・技能		10	20	70			100
思考・判断・表現		10	20	70			100
主体的に取り組む学習態度	30	30	40				100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	オリエンテーション	・コンピュータ教室の利用方法を理解する。			○
	第1章 情報社会と社会の表現	・コンピュータ教室に関する基本操作を練習する。	○		○
5月	・メディアと情報の表現 ・情報社会における情報の表現	・メディアの種類と特性を理解する。		○	○
	第2章 メディアの特性とその表現	・情報通信端末の種類と役割を理解する。		○	○
6月	・文字・図解による表現 ・実習Ⅰ	・わかりやすい文書の作成技法を身につける。		○	○
	前期中間考査	・文書の基本的な構成を理解する。	○	○	○
7・8月	・ワープロソフトを利用してポスター、定型文書、報告書など作成する	・データサイエンスとは何かを知り、データ分析の流れを理解する。		○	○
	・データサイエンスと表現 ・実習Ⅱ	・データサイエンスの手法を知り、表計算ソフトなどで処理を行う	○	○	○
9月	・情報の発信 ・実習Ⅲ	・発想法と情報を整理する方法を理解する。		○	○
	前期期末考査	・プレゼンテーションソフトを起動し、スライドを作成する。	○	○	○

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	第3章 情報の管理 ・ドキュメントの意義と重要性	・ドキュメンテーションの定義と重要性を理解する。		○	○
11月	・音による表現	・音声および音楽データの特性を理解する。 ・音のデジタル化のプロセスと圧縮について理解する。		○	○
12・1月	・静止画による表現 後期期末試験	・デジタル画像の基礎と特性を理解する。（画素、解像度） ・色の表現と圧縮について理解する。		○	○
2月			○	○	
3月					

令和6年度 シラバス・年間学習計画

教科名		総合		科目名	ワールド・スタディーズ
学年	必修／選択	単位	総時数	使用教科書	なし
3	選択	4	120	補助教材	〔地歴科〕新詳高等地図（帝国書院） 〔英語科〕Oxford Read & Discover 3 Wonderful Water（数研出版）
授業の概要		世界の現実に関心をもち、全ての人のために責任ある生き方をするのに必要な知識・技能・姿勢を身につけるための学習をする。地歴教員と英語教員が両分野の内容を相互に関連させながら授業を行う。英語分野では英語テキスト(CEFR A1)で理解を深め、英語プレゼン等により発信力を高める。			
学習到達目標		人間の尊厳、世界の文化の多様性、地域各地に見られる貧困や格差等の現状・原因を理解し、それらの課題の解決方法について互いに意見を出し合い模索することができる。			
求められる力（目指す生徒像）		学習内容や他者の意見を踏まえ、自分自身がどのように課題に関わっているかを理解し、どのように解決していくかを述べるができる。			

観点別評価(%)							
	授業姿勢	課題提出	活動評価				合計
知識・技能		50	50				100
思考・判断・表現		50	50				100
主体的に取り組む学習態度	100						100

年間学習計画（前期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
4月	地球環境問題の考察	内容理解	○		○
	世界の国名、地理を知る	意見交換、作業		○	○
	水に関する考察	課題演習	○	○	
5月	地歴分野 世界や日本の地理の理解	作業			○
	英語分野 プレゼンの取組	プレゼン準備、練習、本番	○		○
6月	世界の人口問題の考察	内容理解、作業、意見交換	○		○
	地歴分野 小テスト	テスト	○		
7・8月	世界の食糧問題の考察	内容理解、作業、意見交換		○	○
	世界の農業、日本の農業	内容理解、作業、意見交換		○	○
9月	英語分野 プレゼンの取組	プレゼン準備、練習、本番		○	○
	地歴分野 小テスト	テスト	○		

年間学習計画（後期）					
時期	単元名・教材名	主な学習活動	評価の観点		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的学習態度
10月	資源問題に関する考察	内容理解、作業		○	○
	エネルギー問題の考察	内容理解、作業、意見交換	○		○
11月	地歴分野 小テスト	テスト	○		
	英語分野 プレゼンの取組	プレゼン準備、練習、本番		○	○
12・1月	民族問題の考察 地歴分野作業	内容理解、作業、意見交換	○		○
	英語分野 プレゼンの取組	プレゼン準備、練習、本番		○	○
	地歴分野 小テスト	テスト	○		
2月					
3月					